

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020 年 12 月 13 日作成 第 1.0 版

研究課題名	閉塞性大腸癌に対する治療成績に関する多施設共同後ろ向き観察研究
研究の対象	2012 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までに臨床病期 II/III の閉塞性大腸癌として治療された患者さん
研究目的 ・方法	目的：臨床病期 II/III の閉塞性大腸癌症例の手術の治療成績および予後について検討し、その合併症頻度や予後から閉塞性大腸癌の最適な治療方針を検討することを目的とします。 方法：患者さんの診療録（カルテ）から閉塞性大腸癌の治療経過について、患者さんの背景情報、手術情報、病理情報、予後情報を調べます。
研究期間	西暦 2021 年 2 月 2 日 ~ 西暦 2023 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	患者さんの診療録（カルテ）から、以下の情報を抽出します。 施設の種類、患者さんの年齢、性別、BMI（Body Mass Index）、術前麻酔リスク分類、術前腸管減圧の種類、腫瘍主座、 初診時ステージ、深達度因子、リンパ節転移因子、術前治療（なし/術前化学療法/術前化学放射線療法） 手術日、手術時間、出血量、術式、吻合方法、人工肛門造設有無、合併臓器切除、術中合併症、開腹移行、術後全合併症、退院日、腫瘍最大径、組織型、病理学的ステージ、深達度因子、リンパ節転移因子、脈管侵襲、根治度、リンパ節採取個数、術後補助療法有無内容、転機、最終生存確認日、 再発が確認された日、初発再発形式
外部への 試料・情報の 提供	特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人情報のない匿名化したデータを研究主機関である横浜市立大学附属病院 消化器外科（研究責任者：石部敦士）へ提供いたします。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	外部からの資料・情報の取得はありません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	研究責任者 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター外科 渡邊純 主機関 研究代表者 横浜市立大学附属病院 消化器外科 石部敦士 共同研究機関名と施設研究責任者： 研究責任者 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 渡邊 純 横須賀共済病院 外科 舛井 秀宣 他 10 施設
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター外科（研究責任者）渡邊 純 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-261-9492</p>	